



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）寺田 正秀
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）齊藤 政基（TEL）03-3472-7890
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 2025年6月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	10,737	1.1	735	13.7	694	9.6	459	△10.5
2024年9月期中間期	10,616	5.9	646	12.8	633	31.2	513	64.2

（注）包括利益 2025年9月期中間期 572百万円（△20.5%） 2024年9月期中間期 719百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	34.78	—
2024年9月期中間期	38.86	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	16,452	7,333	42.5
2024年9月期	14,427	6,575	45.6

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 6,996百万円 2024年9月期 6,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2025年9月期	—	11.50			
2025年9月期（予想）			—	11.50	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.2	1,200	18.8	1,150	18.8	780	0.8	59.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年5月14日）公表いたしました「2025年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ピコモンテ・ジャパン 、除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期中間期	13,410,000株	2024年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	220,227株	2024年9月期	220,227株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年9月期中間期	13,209,773株	2024年9月期中間期	13,209,773株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済はインバウンド需要や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が見られましたが、一方で米国の政策動向による影響や中東・ウクライナ情勢の長期化、為替変動、資源・原材料価格の高騰などによる物価上昇が景気に与える影響も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いています。また、企業経営を取り巻く環境は、人件費や物流費、エネルギーコストの上昇など引き続き厳しい状況となっています。

当連結会計年度は、近年推進し成果を上げている施策を継続し、さらなる成長を目指します。具体的には、NB(ナショナルブランド)ビジネスではメイクツール、キャラクターコスメ、キッズコスメなど「粧美堂と言えば」の商品カテゴリーに注力し、自社企画商品の総合的な商品力を強化することで「粧美堂」ブランドの価値向上を図ります。PB(プライベートブランド)ビジネスでは、新たな協力生産拠点の開拓により、コスト削減・品質向上・商品カテゴリーの拡充を進め、重点販売先のニーズに応えることで「モノづくりのパートナー」としてのシェア拡大を推進します。

また新しい取組みとして、当社が得意とするキャラクタービジネスを昇華させ、キャラクターの著作権をお持ちで新たな収益源の創出を希望される企業とタイアップし、当社が仲介役となりキャラクターの商品化を希望する企業との調整や監修、契約などを行い手数料を受取るライセンスビジネスをスタートいたしました。

組織面では、ECチームを商品企画部に移管し、消費者ニーズに迅速に対応できる体制としたことで魅力ある商品の企画・開発を加速し、EC経由の売上拡大と利益率向上を目指します。また、前年度に発足した全社横断のDX推進室を中心に社内DX化を加速し、生産性向上と商品開発力の強化に取り組んでいます。

当中間連結会計期間の売上高は、対前年同期比1.1%増の10,737,418千円と増収となり売上総利益額は3,271,433千円で対前年同期比17.4%増となりました。円安により売上原価は上昇したものの、前述のように商品力アップにより自社企画商品全般が好調だったことやインバウンド向け、ECが好調に推移した結果、同利益率は30.5%と対前年同期比4.2%増と大幅に上昇することができました。販売費及び一般管理費は、自社企画商品の売上が増加したことに伴い販売促進費、物流費などが増加し対前年同期比18.5%増の2,535,615千円となりましたが、売上総利益の増加で吸収し営業利益は対前年同期比13.7%増の735,817千円、経常利益は対前年同期比9.6%増の694,202千円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に発生した中国のコンタクトレンズ関連の連結子会社(孫会社)の出資持分の一部を売却したことによる売却益97,814千円を計上した特殊要因が剥落した結果、対前年同期比10.5%減の459,481千円となりました。

2024年12月20日付けで適時開示を行った株式会社ピコモンテ・ジャパンの株式を2025年1月10日に取得し子会社化したことから、当中間連結会計期間の実績には子会社化以降の同社の業績も含まれています。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントではありますが、取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧品

当分類には、メイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上が含まれます。当中間連結会計期間の売上高は、重点販売先への営業強化により、スキンケア用品、キッズコスメなどが前期に引き続き好調に推移したことに加え、株式会社ピコモンテ・ジャパンの化粧品売上の寄与もあり4,136,376千円(対前年同期比2.7%増)と増収となりました。

②化粧雑貨

当分類には、メイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上が含まれます。当中間連結会計期間の売上高は、キャラクターをあしらった雑貨類などは好調に推移しましたが全体としては3,384,643千円(対前年同期比0.4%増)と横ばいとなりました。

③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当中間連結会計期間の売上高は、中国孫会社におけるコンタクトレンズE Cビジネスの撤退の影響で1,072,704千円(対前年同期比24.1%減)と大幅減となりました。

④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当中間連結会計期間の売上高は、キャラクターをあしらった一部販売先向けP Bがバッグ、ポーチ類を中心に好調に推移し1,454,494千円(対前年同期比16.6%増)となりました。

⑤その他

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当中間連結会計期間の売上高は、ペット関連商材が引き続き好調に推移した効果もあり689,200千円(対前期比24.1%増)と大幅な増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,025,447千円増加し、16,452,920千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,986,794千円増加し、12,318,629千円となりました。

これは主に、営業活動によるキャッシュ・フローの獲得及び2025年1月10日付で株式会社ピコモンテ・ジャパンを連結子会社化したこと等により現金及び預金が1,215,896千円、受取手形及び売掛金が180,159千円、商品及び製品が454,429千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて38,653千円増加し、4,134,290千円となりました。

これは主に、無形固定資産が50,098千円、その他に含まれている繰延税金資産が48,677千円増加したことに対し、有形固定資産が34,388千円、投資有価証券が25,612千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,267,334千円増加し、9,119,289千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて727,674千円増加し、6,213,734千円となりました。

これは主に、短期借入金が350,000千円、未払法人税等が288,079千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて539,660千円増加し、2,905,554千円となりました。

これは主に、長期借入金が457,491千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて758,112千円増加し、7,333,631千円となりました。

これは主に、利益剰余金が300,963千円、繰延ヘッジ損益が116,839千円、株式会社ピコモンテ・ジャパンの連結子会社化により非支配株主持分が336,655千円増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて1,072,095千円増加し、4,797,976千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、643,534千円（対前年同期比552.6%増）となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益を694,202千円計上するとともに、減価償却費108,262千円、仕入債務の増加145,823千円があったこと、棚卸資産の増加△223,262千円、未払金の減少△119,508千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、獲得した資金は、275,443千円（前年同期は16,669千円の獲得）となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入329,902千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、157,755千円（対前年同期比69.9%減）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入1,200,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△783,152千円、配当金の支払額△158,388千円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました2024年9月期決算短信記載の「2025年9月期の連結業績予想」の修正を行っております。詳細につきましては、本日（2025年5月14日）公表いたしました「2025年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2025年9月期通期連結業績予想数値の修正（2024年10月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	21,500	1,150	1,140	780	59.05
今回修正予想（B）	22,000	1,200	1,150	780	59.05
増減額（B－A）	500	50	10	—	
増減率（％）	2.3	4.3	0.9	—	
（ご参考）前期連結実績 （2024年9月期）	20,919	1,010	967	773	58.59

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,079	5,197,976
受取手形及び売掛金	3,298,631	3,478,791
有価証券	220,000	220,000
商品及び製品	1,816,241	2,270,670
原材料及び貯蔵品	245,819	267,585
為替予約	404,447	580,527
その他	369,497	303,077
貸倒引当金	△4,881	—
流動資産合計	10,331,835	12,318,629
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,029,221	994,832
有形固定資産合計	2,337,115	2,302,726
無形固定資産		
のれん	172,854	182,885
その他	31,774	71,841
無形固定資産合計	204,628	254,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,176,241	1,150,628
その他	378,158	431,693
貸倒引当金	△505	△5,484
投資その他の資産合計	1,553,894	1,576,837
固定資産合計	4,095,637	4,134,290
資産合計	14,427,472	16,452,920
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,876,425	1,928,491
短期借入金	1,300,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,394,000	1,464,000
未払法人税等	64,902	352,981
賞与引当金	151,138	149,574
その他	699,594	668,688
流動負債合計	5,486,059	6,213,734
固定負債		
長期借入金	2,014,500	2,471,991
役員退職慰労引当金	148,630	154,970
資産除去債務	71,838	72,121
その他	130,926	206,472
固定負債合計	2,365,894	2,905,554
負債合計	7,851,954	9,119,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	5,372,114	5,673,078
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	6,100,856	6,401,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,996	96,995
繰延ヘッジ損益	249,761	366,600
為替換算調整勘定	136,904	131,558
その他の包括利益累計額合計	474,662	595,155
非支配株主持分	—	336,655
純資産合計	6,575,518	7,333,631
負債純資産合計	14,427,472	16,452,920

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	10,616,958	10,737,418
売上原価	7,829,357	7,465,985
売上総利益	2,787,600	3,271,433
販売費及び一般管理費	2,140,622	2,535,615
営業利益	646,977	735,817
営業外収益		
受取利息	11,502	9,069
受取配当金	2,318	1,996
受取手数料	3,473	4,029
不動産賃貸収入	5,364	4,930
その他	6,366	2,758
営業外収益合計	29,025	22,784
営業外費用		
支払利息	12,055	16,601
為替差損	17,936	31,193
出資金評価損	—	14,804
その他	12,499	1,800
営業外費用合計	42,491	64,400
経常利益	633,511	694,202
特別利益		
投資有価証券売却益	8,015	—
関係会社出資金売却益	97,814	—
特別利益合計	105,829	—
特別損失		
投資有価証券売却損	4,869	—
特別損失合計	4,869	—
税金等調整前中間純利益	734,472	694,202
法人税、住民税及び事業税	161,204	240,674
法人税等調整額	59,227	2,015
法人税等合計	220,431	242,689
中間純利益	514,040	451,512
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	723	△7,968
親会社株主に帰属する中間純利益	513,316	459,481

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	514,040	451,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,440	8,999
繰延ヘッジ損益	196,131	116,839
為替換算調整勘定	△5,165	△5,345
その他の包括利益合計	205,406	120,493
中間包括利益	719,447	572,005
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	718,778	579,974
非支配株主に係る中間包括利益	668	△7,968

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	734,472	694,202
減価償却費	95,479	108,262
のれん償却額	14,404	16,625
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000	97
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,400	△10,814
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,280	6,340
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1,334	670
受取利息及び受取配当金	△13,820	△11,066
支払利息	12,055	16,601
出資金評価損	—	14,804
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,146	—
関係会社出資金売却益	△97,814	—
売上債権の増減額(△は増加)	130,500	15,550
棚卸資産の増減額(△は増加)	△307,387	△223,262
仕入債務の増減額(△は減少)	209,105	145,823
未払金の増減額(△は減少)	△260,907	△119,508
その他	△21,863	20,272
小計	468,292	674,599
利息及び配当金の受取額	16,540	16,454
利息の支払額	△11,975	△14,722
法人税等の還付額	240	22,615
法人税等の支払額	△374,486	△55,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,610	643,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	704,153	—
有形固定資産の取得による支出	△70,678	△43,480
無形固定資産の取得による支出	△12,306	△42,229
投資有価証券の取得による支出	△700,980	△71,932
投資有価証券の売却による収入	58,507	—
投資有価証券の償還による収入	—	110,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	329,902
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	37,349	—
その他	623	△6,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,669	275,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800,000	△100,000
長期借入れによる収入	800,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△917,000	△783,152
配当金の支払額	△158,620	△158,388
その他	△694	△703
財務活動によるキャッシュ・フロー	523,684	157,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,804	△4,638
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	625,160	1,072,095
現金及び現金同等物の期首残高	4,088,562	3,725,881
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,713,722	4,797,976

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)及び当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年12月20日開催の取締役会において、株式会社ピコモンテ・ジャパン(以下「ピコモンテ社」)の株式を取得して子会社化することを決議しました。また、2025年1月10日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社ピコモンテ・ジャパン

事業の内容 化粧品OEM・ODM、化粧品輸入代行、化粧品自社商品販売、化粧品容器販売

(2) 企業結合を行った主な理由

ピコモンテ社は2013年9月に化粧品・医薬部外品などの輸入代行業務を行う企業として設立され、現在は化粧品のOEM製造受託業務を主体に、化粧品輸入代行、化粧品容器の製造受託も手掛けています。

ピコモンテ社とは、当社の化粧品の開発を共に進めることで取引関係を深めてきました。当社のモノづくりをよく把握しており、製造販売業、輸入代行業の豊富な経験とノウハウを持ち合わせているピコモンテ社が当社グループに加わることで、化粧品の企画、調達面の強化、加えて他カテゴリーでのノウハウの拡大により当社商品の付加価値向上に寄与していくものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年1月10日(みなし取得日2025年1月1日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

52%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間
2025年1月1日から2025年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	400,000	千円
取得原価		400,000	千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等 5,700千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- (1) 発生したのれん

26,656千円

- (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される超過収益力から発生したものであります。

- (3) 償却方法及び償却期間

3年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,502,244	千円
固定資産	46,784	千円
資産合計	1,549,028	千円
流動負債	720,418	千円
固定負債	110,643	千円
負債合計	831,061	千円